

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護サービス適正事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護（予防）サービス利用者	意図	質の高い介護（予防）サービスを適正に受けられるようにするため。
事業内容	サービスの質の向上、適正化を図り介護サービス利用者を保護する。 介護相談員派遣：介護施設等を訪問し、利用者の声を聞き、市がサービス利用者と事業者の橋渡しとなる。 シルバー事業者連絡会：市内介護サービス提供事業者が情報交換や勉強会を開催し、サービスの質の向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	介護相談員 延べ訪問日数 平成28年度 454日 平成29年度 467日 平成30年度 478日			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	介護相談員訪問事業所数	32	33	33	件	→→
②	シルバーサービス事業者連絡会開催回数	21	11	27	回	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 年々増加する要介護認定者に対して適正なサービスが提供できるように定期的にシルバー事業者連絡会や介護支援専門員連絡協議会で情報交換や勉強会を開催している。		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	7,245,840	7,230,510	7,220,360
事業費(b)(円)	3,047,000	3,125,000	3,187,700
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	4,198,840	4,105,510	4,032,660
人役・職員(人)	0.61	0.61	0.61
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.01	0.01	0.01
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・シルバー事業者連絡会で情報交換や勉強会を開催する。 ・介護相談員の受け入れ施設の増加を図るとともに、相談員が活動しやすい環境整備を行う。	③取組における課題(Check)	介護相談員について、月1回の連絡会を通じて情報共有を図り、施設訪問をより効率的に行う。
②H30に実施した取組(Do)	介護相談員の活動報告書について、気づいた点を助言することで、より質の高い活動を行うことができた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・引き続きシルバー事業者連絡会で情報交換や勉強会を開催する。 ・引き続き介護相談員の受け入れ施設の増加を図る。